

SA・ネット大阪ニュース 第36号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35 大阪府教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

◆ ◆ 第14期通常総会開催の報告 ◆ ◆ (案)

広報部長 大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご配慮を頂き誠にありがとうございます。

第14期通常総会を令和2年6月6日以下内容にて開催させて頂きました。

本年の開催は新型コロナウイルスの3密を考慮し、必要最小限の開催内容と致しました。例年は出来るだけ沢山の会員様に出席して頂けるようお願い致しておりましたが、本年につきましては、ご質問・提言等、特別に総会で発言を希望される方のみ、ご参加をお願いする事と致しました。その事によりまして議決につきましては出来る限り、総会議決書に承認の賛否を記入して頂くか、又は他の出席会員に委任して頂くか記入をお願いし開催をいたしました。

第14期通常総会 期日 2020年6月6日(土)(最終確認)

議案 ・会員数=正会員=25名(賛助会員93名)

第1号議案	第14期事業報告承認の件	承認 25	否認 0
第2号議案	第14期決算報告承認の件	承認 25	否認 0
第3号議案	第15期事業計画(案)の件	承認 25	否認 0
第4号議案	第15期活動予算(案)の件	承認 25	否認 0

◆ ◆ 第14期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆ ◆

理事長 村松 秀明

会員の皆様にはコロナの状況下、様々な忍耐を強いられている中、共に励まし合ってこのような時期を乗り切っていきたいと思っております。

先般の総会ではこのような状況下、最小限の4名での開催と致しましたが内容につきましては本紙面にて、ご報告させて頂きます。

第14期のトピックスとしては、国際文化交流科の1期生から5期生まで多くの仲間が留学生支援という活動に加わって頂いた事だと思います。今年度はその活動ができない状況が続いているわけですが、今新たにオンラインを使った新たな活動の模索を続けております。まだ5名程が体験している状態ですが、本紙面での紹介と合わせて説明会等で周知させていただきたいと思っております。また今年9月からの開校となりましたが「子ども健全育成塾指導者養成講座」を開校するという事で「NPO・法人SA子ども活動塾」と昨年から一緒に活動ができました。従来 of 事業部につきましても又新たな事に取り組んで頂いておりますので是非事業部方針をお目通し頂きたいと思っております。又事業部を超えて様々な活動に参画頂きますようお願い致します。

第15期も会員各位が活発に活動される事、そして日々元気に過ごされる事をお祈り致します。どうぞよろしくお願い致します。

◆ ◆第14期事業報告◆ ◆

I. 第14期事業 総括報告

報告者：村松理事長

第14期は4年間にわたって当法人を引っ張って頂いた武内理事長が退任され、新しい体制でスタート致しました。大阪府高齢者大学校の修了生から新たな会員も迎え、国際交流の新たな活動も始めました。海外からの留学生との交流を通して、彼らの支援に繋がればとの思いで始めた活動ですが、初めての活動で試行錯誤の状態が一年が過ぎました。大阪大学の留学生ホストファミリープログラムの方は2年目という事もあり楽しく充実した活動を行って頂きました。又各事業部ともに順調に活動を進めて頂きました。

期の初めには法人としての理念・ビジョンの再確認を行いました。3つの事業部がそれぞれに違う活動をする中で共通の目的・ビジョンをもって活動していこうとの思いを共有化しました。

ホームページもリニューアルし、その思いをビジュアルに表現したものを掲載致しました。

「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して多文化共生社会の実現を目指す」という一文に思いを込めて目指す姿と致しました。

又長年の赤字傾向に歯止めを掛けるべく、本部経費を洗い直し、本当に必要な物だけを残し、その他のものを削減致しました。結果として今期は黒字に終わる事ができました。NPOと雖も、過去の遺産を食いつぶしての活動は社会から評価されないとの思いで今後もやって行きたいと思えます。

II. 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

報告者：三田理事

前期の活動は、次の3点に絞られました。

(1) イベント参加

①四天王寺「わか市」(年7回開催、うち6回参加)(中止1回)延500人の参詣者、観光客等来場者との交流が出来ました。毎月交流を楽しみに来る子ども達や、高齢者もあり主催者からも喜ばれています。

②11月開催の「ポジティブ生活文化交流祭」は障がい者支援のイベントですが、市民の来場も多く延120人と幅広い交流が出来ました。

(2) 「おもちゃづくり教室」開催。年5回開催(1回中止)、延100人参加。

府下一円から「おもちゃづくり」を通じて地域市民との交流を図る人達が参加。

経験の有無は関係なく「伝承おもちゃ」を中心にして、応用や、工夫を加え、また独創的な「おもちゃ」を披露し、より精緻で優美な、しかも簡潔な作り方や材料等の情報を共有し、楽しい雰囲気漂う「場」が続けられていると思っています。(会場は大阪社会福祉指導センター地下会議室)

(3) 大阪区民・大阪府民カレッジの各校の受講生の年間カリキュラムの中で、受講生が修了後、地域との交流を図る手段の一つとして「おもちゃづくり」を指導、夏から秋にかけて催される地域のイベント参加に役立っています。(今期は2校、延3回122人が参加)

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

報告者：二葉副理事長

今までのように、出前教室を中心としていたのでは、依頼を受けての活動であることに難点がありました。そこで、主体的におもしろ算数教室を開きたいと考え、この1年進めてまいりました。大阪社会福祉指導センターにおいて、3か月に1回「谷町教室」と称しておもしろ算数教室を実施しました。参加者からは、「パズルを解いていくと楽しい」「頭がすっきりする」等との声が上がって楽しんで頂きました。この活動「楽しみながら、パズルを解く」ことにより、脳を活性化することが出来、認知症予防のための一つの方法であることを、多くの方々に知って頂きたいものです。また、日曜日の実施により、小学生の参加も得て、新しい局面に至りました。

パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動においては、「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。しかし、パズル体験への参加を呼びかけると、「頭を量られるようで嫌だ」と言われます。これをどのように克服していけるかの工夫が求められています。

サポーター会では、講師を養成するために、マジックの研修を始めました。この機会を増やしていきたいものです。

3. 国際交流事業部 活動報告 報告者：村松理事長

2018年度から活動を開始したOHP(大阪大学ホストファミリープログラム)の活動と合わせI-SEP(留学生交流プログラム)と4Ist(留学生就活支援事業)を立ち上げ、活動を始めました。

I-SEPはOHPの経験を活かし、大阪日本語教育センターの留学生27名と高大国際文化交流科の1期から5期の修了生を中心としたメンバー41名が5グループに分かれ、日本文化の紹介や様々な交流を行いました。

4Istは日本企業への就職を目指す留学生の就活支援活動です。留学生向けセミナーの開催や留学生への個別講座の実施等を行いました。又大阪国際交流センター主催の留学生企業セミナーへの講師派遣や「日本での起業・就業セミナー」を主催し留学生へ講習活動を行いました。なお4Istの活動は3月末で当法人から分離独立して活動を行っていく事になりました。

また大阪府高齢者大学校の助成の関係ではDDSへの応募を4グループが行い活動資金を頂いております。

又高大アワードにおいて留学生就活支援活動に奨励賞を頂きました。

また今年新たに2月に開催されております第27回ワンワールドフェスティバルへの出展を行いました。



4. 広報部 活動報告

報告者：大川副理事長

1) 広報誌の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年 3 回発行。

- ・平成 31 年 04 月＝32 号下期報告。
- ・令和 1 年 07 月＝33 号総会資料。
- ・令和 1 年 11 月＝34 号上期報告。

※記事内に会員交流の場としての「会員かわら版コーナー」累計 31 名の方に寄稿頂き、会員同士の交流活動、情報交換になったのではないかと思います。

②SA ネット大阪 PR チラシ修正版作成（国際交流）をし、SA ネット大阪の PR に活用、引き続き、高大（校友会）PR コーナーのラックにも配架し SA ネット大阪の PR に努めました。

2) ホームページの推進

①ホームページのリニューアル、サーバー替えトップページのレイアウト変更を行い、アクセス増加を推進しました。

②SA ネット大阪主催のイベント情報

- ・「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」「フレイル講座」等、各事業部行事予定をHPにアップ参加者増員に務めました。
- ・トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットなニュースを、アップ、ホット情報を届け参加者増員に務めました。

3) 関連団体主催のイベントに参加

- ・関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」に参加PR コーナーで資料による SA ネット大阪の PR、会員募集に努めました。

4) 本部経費削減

- ・ホームページ内製化推進を行い具体化しました。
- ・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。
- ・郵送料の圧縮推進を行いました。



おもちゃづくり教室



おもしろ算数教室



国際交流サロン

◆ ◆第15期 事業計画◆ ◆

I. 第15期 総括事業方針

報告者：村松理事長

今期はコロナの影響で活動休止の状態からのスタートとなりました。

それぞれが、余りある自宅待機生活の中で、活動再開の準備期間を与えて貰ったと思います。又それぞれの活動の原点・足元を見直す機会にもなりうると思います。

今期の新たな活動としては子ども指導者講座「おもちゃ学校」を開校致します。

コロナの状況如何で開校時期が変わってきますが、4月末時点の予定では9月開校と云う事で受講生30名が半年間（当初予定は1年間でした）おもちゃ作りを学び、修了後に子どもおもちゃ教室の指導者になる事を目指しています。この事業は吹田にある「NPO法人SA子ども活動塾」とのコラボで実施致します。又この事業は今期大阪府高齢者大学校の中に組織化された、子ども事業部門の中の活動にもなります。「高大子ども事業部門」の沢山のメンバーの方々とも連携していく道ができたと思っています。

又、本部としては国際交流事業部の事業部長空席を埋めるべく当面本部の中に、国際交流事業部を運営していきたいと思っています。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針 報告者：三田理事

期初の総会議案書にも記しましたように、今期の活動は、「コロナ禍」の影響で9月以降という事になりそうです。

従って活動期間も例年の約半分ですが、「おもちゃづくり」を通じて幼児・小学生からシニアの世代まで全ての世代と幅広く交流を図りたいと考えています。

活動内容は、従来と同じく3点に集約されます。

(1) イベント参加

① 四天王寺「わっか市」への参加。

主催者側の今期の開催計画では、今期9月以降の開催は5回の予定です。

いずれも、月1回、第1日曜日ですが、四天王寺側がいつから開催をOKするかどうか連絡待ちです。

② 11月の「ポジティブ生活文化交流祭（障がい者支援イベント）」への参加を予定していますが、イベント自体開催されるかどうか微妙です。

(2) 「おもちゃづくり教室」開催。4回開催を考えています。ただ、会場が従来大阪社会福祉指導センター会議室は、「3密」解除にならない限り使用できませんので、他の会場を探さねばならず、また有っても予約できるかどうか判りません。

9月は、大阪中央区民センターを予約できました。

(3) 大阪区民カレッジ各校受講生に「おもちゃづくり」を指導。各校ともカリキュラム短縮、修正ありましたが、現在2校、3回の講師指導を依頼されています。

いづれにしても現時点では9月以降実施できるかどうかは予断を許さず、今後の彼我的状況を注視しながら活動を図りたいと思っています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

報告者：二葉副理事長

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただけると、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の一つの方策だと分かって頂けます。

まず、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

次に、昨年定期的に教室（谷町教室）を開催しましたが、参加人数が増えません。その対策として、

- ①宣伝の方法を如何にするか。
- ②開講の曜日を如何にするか。
- ③内容をより魅力的にするには如何にするか。

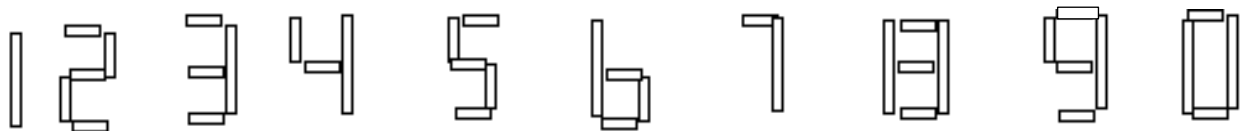
等を検討中です。

人気の「清少納言チエの板」に、現在は新しい「ユークリッドのチエの板」を作成中です。

更に、昨年度より進めたサポーターの方々へのマジックの研修をすすめ、講師の養成を目指します。

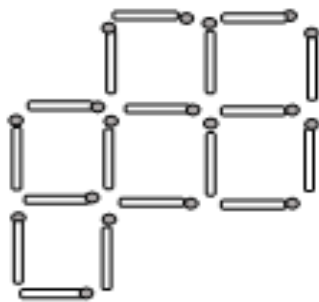
なお、コロナウイルス対策のために、中止や延期となった行事を挙げます。

- 3 / 9 (月) 「パズル体験」ONCC 同窓会連協文化祭にて予定：中止
- 3 / 23 (金) 「おもしろ算数教室」大東元気もんクラブ主催として予定：中止
- 5 / 27 (水) 「おもしろ算数教室」府民カレッジひらかた校予定：10 / 21 に延期



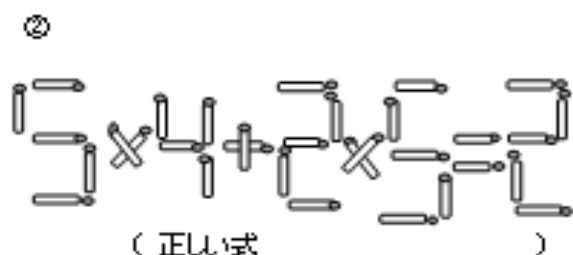
おもしろ算数教室 マッチパズル

I. 6個の正方形があります。2本のマッチ棒を動かして、同じ大きさの5個の正方形にしてください。



(ただし、正方形にならないマッチを残さないこと)

II. 次の間違った式を、1本のマッチを移動して、正しい式に直してください



3. 国際交流事業部 活動方針

報告者：村松理事長（兼任）

従来活動 留学生支援活動 日本語教育センター留学生交流（I・SEP） 活動休止
大阪大学ホストファミリープログラム（OHP） 本年度中 活動休止
留学生就職活動支援（4・IST） 独立し別途活動中
国際交流サロン 多人数での講演会方式が困難

本年度 留学生交流活動 オンライン（Sail）を通して海外で日本語を学ぶ学生と交流していく。又この活動に携わる者の定期オンラインミーティングを開催。
国際交流サロン 交流者が一定数集まった段階で海外の若者も含めてオンラインサロンを開催したい。

5.広報部 活動方針 報告者：大川副理事長**1) 広報紙の継続発行**

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回
令和2年7月、36号総会報告。
令和2年11月、37号上期報告。の発行を目指します。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
 - ・継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

- ①高大校友会のPRコーナーのラックにも継続して「PRチラシ」等を配架、SAネット大阪のPRに努めます。
- ② 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「大阪区民、大阪府民カレッジ修了式」に事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSAネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ①SAネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ②「SAネット大阪ニュース」を、年2回令和2年7月・10月にHPにアップします。
- ③関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。
 - ・SAネット大阪会員の主催する情報も随時掲載して更新を図ります。
- ④ホームページアクセス数アップを図ります。

4) SAネット大阪本部経費

- ・SAネット大阪本部収支改善を図ります。

◆ ◆ 役員名簿 ◆ ◆

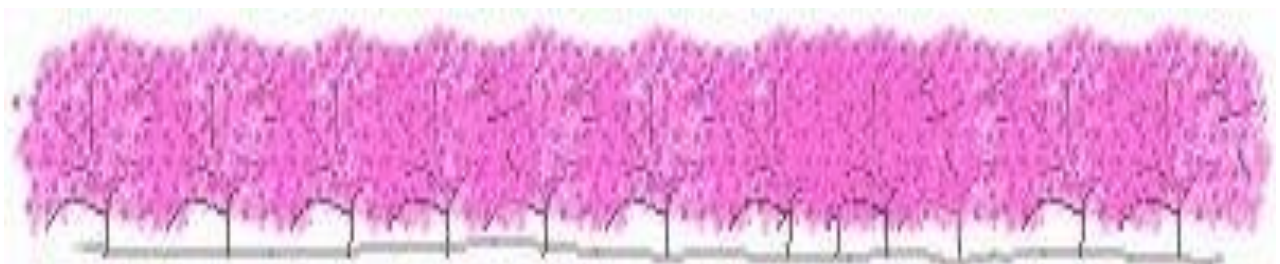
(2020年6月6日～2021年5月31日)



旧役員		新役員	
理事（理事長）	村松 秀明	理事（理事長）	村松 秀明（再任）
理事（副理事長）	二葉 登代子	理事（副理事長）	二葉 登代子（再任）
理事（副理事長）	大川 正彦	理事（副理事長）	大川 正彦（再任）
理事（副理事長）	田内 幸夫	理事	武内 信憲（再任）
理事	武内 信憲	理事	三田 進一（再任）
理事	三田 進一	理事	島田 道子（再任）
理事	島田 道子	理事	森川 加也（再任）
理事	森井 英和	理事	渡邊 耕平（再任）
理事	森川 加也	監事	新鞍 清彦（再任）
理事	北川 陽子		
理事	原木 富夫		
理事	山口 正人		
理事	渡邊 耕平		
監事	新鞍 清彦		

[退任] 田内 幸夫 原木 富夫 山口 正人

[任期満了] 森井 英和 北川 陽子





◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-23

世代間交流おもちゃ学校大阪校・SA ネット大阪とともに

報告者：世代間交流 18 期修了 小川 忠夫

吹田の地で「世代間交流おもちゃ学校」を設立し活動を始めて6年が経ちました。180人の卒業生を送り出し、この卒業生が毎年卒業同期でグループをつくり活動しています。各期30名の子ども達を集め工作教室を運営し世代間の交流をしています。この「おもちゃ学校」を設立した目的は一般市民から応募者を募り、おもちゃつくりの授業を行い、子ども達の、健全育成の活動を展開することでありました。この活動を大阪府下全域に展開すべく、SA ネット大阪と連携しおもちゃ学校大阪校を設立することになりました。これはSA ネット大阪が運営主体となり、おもちゃ学校吹田校が講師、スタッフ派遣等で貢献するという体制が出来上がりました。突然の新型コロナウイルスの大騒動で4月の入学がかなわず、年後半の活動の見通しも不透明でむつかしい情勢になっています。

おもちゃ学校吹田校は平成26年にSA吹田のおもちゃ部会で計画され活動を始めたが、間もなくSA吹田の手に負えなくなりました。そこで新たにNPO活動法人を設立し資金確保の目途をつけ組織的な活動を展開することになりました。活動の基本はSA吹田に置きSA吹田の組織の一角としてNPO法人が組み込まれました。このことによりNPO法人の活動はSA吹田の活動の一部として展開されることになりました。NPO法人設立によって、資金調達が出来るようになり、おもちゃ学校の運営も人員確保の面からも運営が順調に運ぶようになりました。おもちゃ学校への入学者は基本的には、SA吹田の会員になり、昨年はSA吹田の会員は200名を超えることになりました。

この活動の要点の一つは運営資金の確保であり、それは参加者から徴収する参加費と助成金の確保によって賄います。助成金は国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」から毎年35万円程度を6年間連続して受けることが出来ました。このことにより講師延べ30人、スタッフ延べ50人の人員確保が出来ました。このほかに、会場賃借費、工作材料費に充当しました。

もう一つの要点は卒業生の活動です。吹田の例ですと每期卒業生がグループを結成しその期毎に子ども工作教室を開催して年11回の授業を行います。生徒の募集はまとめて行い30,000枚のチラシを作り、吹田市内の33小学校に配布します。これは吹田市の校長会の認定を受け、教育委員会により全小学校に配布され、一人一人の全生徒に手渡されます。この結果工作教室5教室への応募生徒は250名となり、毎月土曜日に5教室が一年間継続して行われます。

さらにもう一つの要点はおもちゃ学校の卒業生が、このおもちゃ学校の運営を行うという事です。吹田の場合第1期卒業生が学校長となり、責任者として運営全般を取り仕切っています。今回大阪校に協力する責任者は吹田校の第4期の卒業生です。





◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-②④

「シルバーアドバイザー・ネット大阪への仲間入り」
—世代間交流おもちゃ学校大阪校 学校長としての参画—

報告者：「おもちゃ学校吹田校」4期 修了・長澤 慎治

この度発足しました、世代間交流おもちゃ学校大阪校の学校長として参画いたします。

「おもちゃ学校吹田校」で3年余りとなります。入校当初より教室の授業以外に力を伸ばすためにエコ市民塾や各イベントに参加し、また1年後にはロボット研究会を小川様の指示で立ち上げ、責任者を務めさせていただいております。この度「NPO 法人 SA 子ども活動塾」おもちゃ学校大阪校からお誘いを受けまして学校長として就任することになりました。

私の基本的な考え方は、この学校の趣旨でもありますように楽しく活動するということが一番です。皆様方とストレスをためないように **sincere** (シンシア=誠実) な対応に努めたいと考えております。

任務と致しましては、カリキュラムの作成、講師・スタッフの調整と依頼、予算の策定と執行、それに組織のまとめ等となります。今年はコロナウイルス騒動で不安定な門出になりましたが、今後情勢に応じた対応が求められます。

受講生の皆様が期待されるような事業を展開し、将来に繋げられるような活動にしたいと思っております。

この活動がネット大阪の皆様にも多少でも貢献できれば幸いです。皆様方のご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

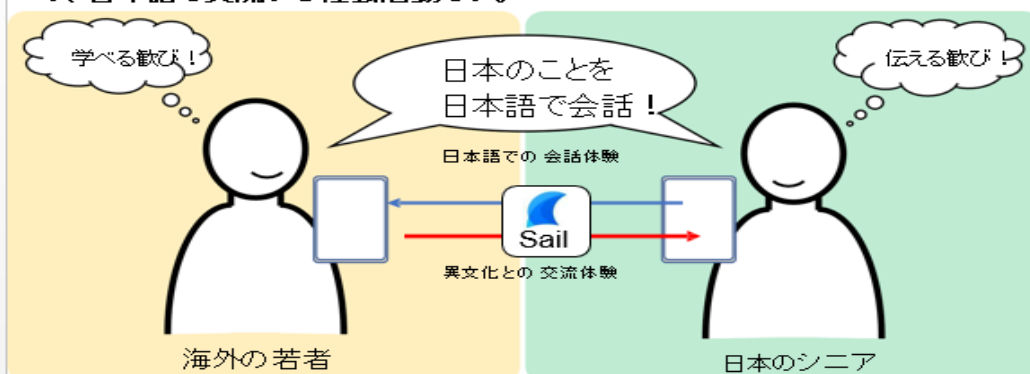


国際交流事業部 提案

「コロナ禍の中でも行える活動のご案内」

国際交流事業部で、今後行っていこうとしているオンラインでの
交流活動の概要

日本語を学んでいる海外の人々（主には若者）と我々シニアがオンラインでつながり、日本語で交流する社会活動です。



国・年齢・文化を超え、**好奇心**で結ばれるオンラインプラットフォームです。

協賛企業・組織PRコーナー掲載

会社概要 | 株式会社88観光

ハチハチ
株式会社 **88観光**
創業 40 有余年の信頼と実績

株式会社 88 観光（登記 株式会社ハチハチ観光）
大阪市北区西天満 3-3-10 06 6311-8814（代表）

2020 年度会員募集について

平素は、シルバーアドバイザー・ネット大阪に格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2020 年度(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)につきまして、新規入会の方、継続ご入会いただく方、年会費の納入は以下の通りです。

記

- ◇正会員 会費年額 3,000 円 ◇賛助会員 会費年額 1,000 円
- ◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-1-235092
- ◇口座名 NPO 法人シルバーアドバイザーネット大阪
- ・振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。
- 新規申し込み希望の方は入会申込書を、お送りしますので、郵送か FAX または E-mail に添付し下記宛にご返送ください。

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35
大阪府教育会館（アネックスパル法円坂）内
認定NPO法人大阪府高齢者大学校内
TEL：06-6360-4565 FAX：06-6360-4410

[E-mail sanet@osaka-koudai.com](mailto:sanet@osaka-koudai.com)

[URL http://sanetosaka.com](http://sanetosaka.com)

[編集後記]

「SA・ネット大阪ニュース」第36号は、総会特集号の内容で、お届けいたします。議案書・活動計算書はホームページにも掲載して居ります、ご覧ください。

「コロナショック」で始まりコロナ対策で終わりそうな 2020 年。人類の「人・物・金」すべてに襲いかかる世界同時テロ。コロナワールドの混乱はまだまだ続きそう・・・NPO・SA ネット大阪も上期はすべての活動が停止、延期、縮小を強いられ、活動、収支共の、事業計画修正検討が必要になり、本誌も発行が遅れました事お詫び致します。次号は前期事業の中間報告の内容で、2020 年 11 月に発行の予定です。広報部：M.O